

2026 年度 JRA 畜産振興事業
次世代の養蜂人材育成のための研修事業
募集要項
(高等学校向け)

2026 年 5 月 21 日

公益社団法人国際農林業協働協会
(JAICAF)

目次

1. 事業の目的	1
2. 事業実施団体	1
3. 助成	1
4. 事業の概要	1
1) 事業スケジュール	2
2) 研修	2
3) 成果発表	4
5. 募集	5
1) 対 象	5
2) 募集内容	5
3) 参加要件	6
4) 参加経費	7
5) 応募書類	8
【様式 1: 申請書】	10
【様式 2: 画像・映像の使用及びメディア取材承諾書】	13
【様式 3: 研修参加者リスト】	14
【様式 4: 宿泊研修参加希望者(高校生): 候補者情報及び自己推薦文】	15

養蜂はハチミツ等蜂製品の提供の他、花粉媒介を通じてわが国の食料供給に貢献する重要な産業です。近年、SDGs の観点などから注目を集める一方で、しかし、養蜂業の担い手不足や不十分な産業基盤といった課題があります。

公益社団法人国際農林業協働協会（JAICAF）は、2024 年度より JRA（日本中央競馬会）から助成を受け、養蜂産業の社会的役割、課題や課題解決のアプローチを学ぶ高等学校向けの研修事業を実施しています。

2026 年度は、日本国内の養蜂経営者・研究機関への訪問を強化することで、養蜂の産業としての使命や役割および課題を学び、将来の養蜂産業を支える人材の育成を引き続き目指していきます。

なお、本事業では、養蜂産業の観点からセイヨウミツバチを扱います。

1. 事業の目的

学校教育の現場においても、課外活動などでミツバチの生態や養蜂を通じた自然や社会との関わりをテーマに、学習を継続している、あるいは実施しようとしている学校があります。本事業は、こうした学校を対象に、各校で行われている学習を補強しつつ、養蜂産業への視点を得るための学習プログラムを学校側に提供し、広く養蜂産業振興に貢献する人材の育成に繋げることを目的とします。

2. 事業実施団体

公益社団法人国際農林業協働協会（以下、JAICAF とする）が事業を実施します。

3. 助成

本事業は、JRA（日本中央競馬会）が行う 2026 年度日本中央競馬会畜産振興事業の助成を受けて実施されます。

4. 事業の概要

本事業では、ミツバチや養蜂の学習プログラム（以下、「養蜂学習」という）を取り入れている高等学校を対象に、養蜂産業の意義や実際を学ぶ研修を実施します。参加者は、各校の養蜂学習に参加する高校生および養蜂学習を指導する教員（指導教員）（以下、研修参加者とする）です。

過去事業では国内研修と海外研修を組み合わせたプログラムとしましたが、2026 年度は国内研修のみ実施します。特に、日本を含め世界的に花粉交配用ミツバチの不足が深刻となっている状況に鑑み、養蜂産業に課された社会的役割である花粉交配群の提供を重視した研修内容とします。

なお、今年度は過去事業参加者の OB・OG からも参加者（高校生のメンター）を募集します。

1) 事業スケジュール

	国内研修		
	座学	現場研修	定期ミーティング(MTG)
5月	5月21日(木): 公募開始		
6月	6月5日(金): プレエントリー/OB・OG 参加者募集開始 6月19日(金): 参加申込〆切		
7月	【オンライン】 土曜日の3日間・午後 (7/4・7/11・7/18)		
8月		【第1回定期 MTG】: 8/5(水)~8/8(土) 3泊4日 <ul style="list-style-type: none"> ● 埼玉県養蜂企業訪問・蜂場訪問 ● 飼育管理指導(人数によっては蜂場での内検指導あり) ● 分科会(課題別グループディスカッション) 【現場研修】	
9月		※ 全ての参加校が、いずれの現場研修にも参加可能とする。 ※ ただし、1校当たりの研修経費負担には上限を設ける。	
10月			
11月			第2回定期 MTG
12月			
1月			
2月			第3回定期 MTG(春の飼育管理)
3月	成果発表会 報告書発行・事業終了		

2) 研修

研修は、①専門家による座学、②養蜂経営者や研究機関を訪問する現場研修、③参加校間での学習共有と養蜂産業に関するグループワーク等を行う定期ミーティングから構成します。

座学と定期ミーティングについては、当日参加できない場合に備え、可能な限り録画データを共有します。

① 座学

研修全体の背景情報として、基礎的な知識を学びます。なお、座学はすべてオンラインで行います。

座学プログラム（予定）

日時	テーマ	場所
7月4日(土) 14:00～17:00	第1回講座 <ul style="list-style-type: none"> ● 事業解題(JAICAF) ● 蜜源とミツバチの生態 講師:玉川大学名誉教授/ (一社)養蜂産業振興会代表理事 佐々木正己氏 ● 送粉昆虫としてのミツバチの役割 講師:農研機構 農業環境研究部門 農業生態系管理研究領域 生物多様性保全・利用グループ 前田太郎氏 ● 日本国内の花粉交配用ミツバチの不足について 講師:農林水産省畜産局畜産振興課技術第2班 課長補佐 信戸一利氏 	オンライン
7月11日(土) 14:00～16:00	第2回講座 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の養蜂関連法制度 講師:Beehive Japan 代表取締役 渡辺宏氏 ● 日本の養蜂関連行政機関と養蜂組織 ● ハチミツの世界 講師:玉川大学名誉教授/ 全国はちみつ公正取引協議会 副会長 中村純氏 	オンライン
7月18日(土) 14:00～16:00	第3回講座 <ul style="list-style-type: none"> ● ミツバチの飼育技術とダニ被害 講師:(一社)養蜂産業振興会 理事/ 元玉川大学教授 干場英弘氏 ● 米国のダニ被害状況とその対応 講師:玉川大学名誉教授/ (一社)養蜂産業振興会代表理事 佐々木正己氏 	オンライン

② 現場研修

事業期間中、全国の養蜂企業・経営者および関連研究機関への訪問を行います。

可能な限り、花粉交配群を提供する養蜂家や養蜂家の取引先である農家を訪問先を含める予定です。

③ 定期ミーティング

各校それぞれの活動や研究の成果を共有するとともに、養蜂産業に関する学習を深めるためのグループワーク等を行います。養蜂技術やミツバチに詳しい専門家からコメントをいただく機会も設ける予定です。

第1回は宿泊研修とし、埼玉県の研究施設で、8月5日(水)～8日(土)に3泊4日で実施します。

第2回目以降は研修参加校やその数によって時期や時間配分が変更となりますので、次ページの予定は目安と考えてください。参加校が決まった後、改めて日時を調整・決定したうえで、お知らせします。

定期ミーティングプログラム（予定）

実施予定時期	テーマ	場所
第1回 8月5日（水）～ 8月8日（土） *宿泊研修（3泊4日）	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県養蜂企業訪問・蜂場訪問 飼育管理指導 分科会（課題別グループディスカッション） 	ホテルヘリテージ （埼玉県熊谷市）
第2回 11月22日（日） 10：00～16：00頃	<ul style="list-style-type: none"> 現場研修の結果等を共有 養蜂産業の課題と解決策を考えるグループワーク 成果発表会に向けた準備など 	都内／オンライン
第3回 2月 午前または午後の2時間	<ul style="list-style-type: none"> 飼育技術研修（春の飼育管理） 	都内／オンライン

※ 事務局の都合により、時期がずれることやオンライン開催のみとすることがあります。

※ 研修参加者の要望や予算によっては、ミーティング回数を増やす可能性があります。

▶ 第1回定期ミーティングプログラム（詳細）

研修会場：ホテルヘリテージ（埼玉県熊谷市小江川 228）

日時	プログラム	宿泊
8月5日（水）	午後 学校の活動共有 専門家による情報共有	ホテルヘリテージ
8月6日（木）	午前 内検見学 午後 養蜂家訪問	ホテルヘリテージ
8月7日（金）	午前 養蜂企業訪問 午後 全体ディスカッション	ホテルヘリテージ
8月8日（土）	午前 テーマごとに意見交換（分科会） 13:00頃 解散	

※プログラムの詳細は後日参加校にご案内しますが、初日は13時頃の集合を予定しています。

※高校生の宿泊は全日、相部屋（2名～6名）です。

※必要と認めた場合には前泊・後泊の宿泊費も事務局で負担します。

3) 成果発表

① 成果発表会

研修参加者には、事務局が主催する成果発表会での発表をお願いします。各校から代表者2～3名程度に参加いただく予定です。

具体的な発表の場や日時は現時点では未定ですが、会場を押さえるため、研修参加校が決まり次第、日程を調整の上で確定します。成果発表会には、可能な限り全ての研修参加校に参加いただきます。日程調整にご協力ください。

成果発表プログラム（案）

予定時期	内容	場所
3月中下旬	【1日目午後】 <ul style="list-style-type: none">発表準備ワークショップ 【2日目午前】 <ul style="list-style-type: none">発表準備ワークショップ(続き) 【2日目午後】 <ul style="list-style-type: none">成果発表会<ul style="list-style-type: none">✓ 事業全体の紹介✓ 研修成果と今後の学習✓ その他	東京近郊／オンライン

② 各校での発表

各校独自のイベントなどで、本研修について積極的に報告してください。その場合の事務局への情報共有についてもご協力をお願いします。

③ 事業報告書および概要版の発行と配布

本事業では、本事業の成果をできるだけ広く周知するため、研修実績等の他、参加者（校）が作成する報告書を取りまとめ、事業報告書とその概要版を作成します。事業報告書と概要版は、JAICAF ウェブサイトで公開するとともに、研修参加校、養蜂関係者・組織、農業農村開発専門家等に配布します。

5. 募 集

1) 対 象

養蜂やミツバチに関する事柄を課外学習等に取り入れている、あるいは取り入れようとしている高等学校において、当該学習プログラムに参加する高校生及びそれを指導する教員
※中高一貫校の場合は中学生の参加も認めます。ただし中学生の参加にかかる経費は各校でご負担ください。

2) 募集内容

(1) 年間の研修事業に参加を希望する学校を募集します。

学校単位で応募をお願いします。参加を希望する高校は、次ページの提出先まで、「5. 募集」の「4) 応募書類」に示す必要書類を提出してください。

原則として、参加希望校および研修参加者は学校数・人数の制限は設けません。

(2) 宿泊研修参加者を募集します。

本事業では、研修に主体的に参加し、研修でのグループワークをリードする人材として、宿泊研修参加者を求めます。各校から、生徒2名まで、指導教員1名までを募集します。宿泊研修は、第1回定期ミーティングとして実施します（宿泊研修の参加旅費は、本事業で負担）。

なお、宿泊研修への参加を希望しない学校も、(1)の研修事業に参加可能です。また、宿泊研修参加者以外についても、その他の定期ミーティング、現場研修、成果発表会事前準備への参加にあたって、旅費負担の対象とします(ただし学校ごとの参加人数に制限を設けます)。

宿泊研修の参加者は全体で45名を上限とし、応募人数が上限を超える場合には、研修参加校(者)の選考を行います(学校数を優先し、p.9の選考基準に沿って選考)。

提出期限=募集内容の(1)と(2)同時募集

プレントリー：**2026年6月5日(金) 23:59**まで

提出方法：メールによる連絡

※①参加希望校担当窓口連絡先(指導教員のお名前とメールアドレス)および②宿泊研修応募人数(予定)をお送りください。

※メール件名は【2026JRA 養蜂研修へのプレントリー(学校名)】としてください。

※プレントリーは必須とはしませんが、事業運営の都合上、エントリーへのご協力をお願いします。

本エントリー：**2026年6月19日(金) 23:59**まで

提出方法：メールによる電子提出

※件名【2026JRA 養蜂研修への応募(学校名)】としてください。

※PDF1ファイルにまとめ、必ずパスワードをかけること

※パスワードは別メールで提出先に連絡のこと

提出先・問合せ先：JRA 養蜂研修事業事務局

公益社団法人国際農林業協働協会 業務グループ

西山 deske@jaicaf.or.jp / 森 m.mori@jaicaf.or.jp

※担当の2名両方にお送りください

※担当者が出張中のため、ご質問等もメールにてお願いします。

受領後、2営業日以内に受領の連絡を行います。受領メールが届かない場合は下記の代表電話までお電話ください。

代表 TEL 03-5772-7880 (土日祝日を除く 10:00-17:00)

3) 参加要件

研修参加者(校)※は、下記を満たすこととします。 ※研修参加者には指導教員を含みます

(1) 年間研修参加者(校)

- ① 養蜂やミツバチに関心を有していること
- ② 年間を通じて積極的に研修プログラムに参加し(発表および発表資料作成を含む)、他の研修参加者とも交流すること
- ③ イベントや成果発表会で成果を発表する意思を有していること
- ④ 事務局が作成する様式に従って年間活動報告を作成し、事務局に提出すること

- ⑤ 事務局が本研修事業実施中に行うアンケート調査に応えること
- ⑥ 本研修事業の広報に協力すること
- ⑦ 氏名・学校名・顔写真・活動報告・発表資料等の研修での活用、JAICAF ホームページや刊行物等での公表、他校研修参加者による引用を承諾すること。また、メディア取材についても承諾すること
- ⑧ 参加校は、本研修事業を担当する指導教員を決めること。担当の指導教員には、参加生徒と事務局の間に連絡調整役を担っていただきます
- ⑨ 参加校は、3年後に事務局がアンケートを実施する場合、それに協力すること

(2) 宿泊研修参加者

- ① (1) の要件をすべて満たすこと
- ② 宿泊研修までに、すべての座学を聴講すること（録画の聴講も可）
- ③ 宿泊研修（第1回定期ミーティング：8月5日～8月8日）の全てのプログラムに積極的に参加すること
- ④ 宿泊研修中は原則として事務局の指示に従うこと（部屋割り、生活時間等）
- ⑤ 研修先・講師・損害保険会社など、事務局が研修に必要と判断する組織・養蜂経営者・専門家等への、学校名、氏名、学年／職位などの情報の提供に同意すること

4) 参加経費

事務局が負担する経費は表1のとおりです。なお、宿泊研修を除き、傷害保険はかけていませんので、各校でご準備願います。

表1 事務局が負担する経費とその範囲

費目	範囲、詳細、備考
交通費及び宿泊費	<p>① 第1回定期ミーティング（宿泊研修） プログラムへの参加に係る交通費および宿泊費 ※前泊・後泊は、事務局が必要と判断した場合のみ：事前に連絡します。</p> <p>② 現場研修 参加にかかる交通費および宿泊費 ※ただし学校ごとの回数と人数に制限を設けます。 ※宿泊費は事務局が必要と判断した場合のみ：事前に連絡します。</p> <p>③ その他 第2回目以降の定期ミーティング、成果発表会、ならびに事務局が参加を依頼するイベントへの参加など、事務局が指定する研修プログラムへの参加に係る交通費および宿泊費 ※原則として各校高校生2名分及び指導教員1名分を上限とし、研修ごとに事務局が設定します。 ※宿泊費は事務局が必要と判断した場合のみ：事前に連絡します。</p> <p>✓ 上記以外の経費は各自（各校）が負担 ✓ 社会通念上やむを得ない事情を除き、自己都合による不参加に伴う宿泊費・食事のキャンセル料は本人負担といたします。</p>
養蜂家への謝礼金	見学謝礼金（1カ所1回限り7,900円源泉税込：JRA規定による）

5) 応募書類

次の書類を様式に従って作成し、提出してください。

- ① 研修参加申請書【様式 1、p.10】
- ② 養蜂・ミツバチに関する課外活動の概要【様式 2、p.10】
- ③ 画像・映像の使用及びメディア取材承諾書【様式 3、p.12】
- ④ 学校概要（様式自由、既存のパンフレットなどで可）
- ⑤ 研修参加者リスト【様式 4、p.13】

【本事業問合せ先】

公益社団法人国際農林業協働協会（JAICAF）

業務グループ 森 麻衣子 (m.mori@jaicaf.or.jp)

西山 亜希代 (deske@jaicaf.or.jp)

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 4F（北）

Tel: 03-5772-7880 / Fax: 03-5772-7680

【添付資料】

宿泊研修参加者の評価の視点（選考が必要となった場合）

<学校>

1. 養蜂産業への関心
2. 養蜂関連人材の育成への関心
3. 本研修事業への関心と研修目的の理解
4. 学校としての養蜂学習の持続性
5. 養蜂学習への取り組みの熱意
6. 本研修事業に関する広報の可能性
7. 養蜂学習の地域社会への広がり

<高校生>

1. 養蜂産業に関する学びへの関心
2. 研修目的の理解と熱意
3. 他者との交流に係る姿勢や積極性
4. 宿泊研修の学び・成果の学友との共有
5. 学内での適切な選考の有無

【様式 1:申請書】

公益社団法人国際農林業協働協会
会 長 松 原 英 治 殿

申請者
学校住所
学校名
代表者 印

2026 年度 JRA 畜産振興事業
次世代の養蜂人材育成のための研修事業
研修参加申請書

応募要領に記載の参加要件（p.6～7）を順守して本研修に参加することとし、標記研修事業の研修への参加を申請したく、下記の書類を提出します。

記

- 養蜂・ミツバチに関する課外活動の概要【様式 2】
- 画像・映像の使用及びメディア取材承諾書【様式 3】
- 学校概要
- 研修参加者リスト（高校生／指導教員）【様式 4】
- 宿泊研修参加希望者（高校生）：候補者情報および自己推薦文【様式 5】 件

【様式 2: 養蜂・ミツバチに関する課外活動(養蜂学習)の概要】

学校名		所在地 TEL	
養蜂学習の名称			
養蜂学習指導者の有無と人数	有 / 無 (いずれかに○) 人数 名		
本研修担当者	氏名 所属 TEL Email	職位	※研修中、連絡のつきやすい番号
学年別参加生徒数			
養蜂学習の概要	<p>➤ 沿革、主な活動、今年度の学習目標と年間計画、学校内の他の生徒や他の課外活動等との連携状況、過去数年間の実績や成果、特にアピールしたいことなどを記載ください。</p>		
養蜂学習の概要 (つづき)	<p>➤ 地域社会との交流・協働や社会貢献につながる活動があれば、その具体例 (実績や今後の予定)</p>		

広報活動

- 学校の広報媒体に活動報告を掲載することがあれば、その具体例（実績や今後の予定）
- その他に発表の機会があれば、その具体例（実績や今後の予定）

学校あるいは養蜂学習プログラムとして本研修事業に期待すること（自由記載 400 字程度）

- 人材育成・進路指導の観点から本事業に期待することがあれば、あわせて記載ください

来年度以降の継続可能性（右記から 1 つ選択）

高	中	低	不明
---	---	---	----

→上記を選択した理由

【様式 2:画像・映像の使用及びメディア取材承諾書】

公益社団法人国際農林業協働協会
会 長 松 原 英 治 殿

申請者
学校住所
学校名
代表者 印

2026 年度 JRA 畜産振興事業
次世代の養蜂人材育成のための研修事業にかかる
画像・映像の使用及びメディア取材承諾書

本研修に関して、事務局、当校から参加する生徒及び指導教員（以下、研修参加者という）、あるいは他校の研修参加者によって撮影された、あるいは、研修参加者本人から提供された研修参加者の画像・映像については、研修に資する場合及び本研修の成果を広報することを目的とする場合、事務局及び他校研修参加者による使用を承諾します。

また併せて、研修や成果発表会等イベントでのメディア取材についても、同様に承諾します。

なお、本件については、当校所属のすべての研修参加者の承諾も得ていることを報告します。

【様式 3: 研修参加者リスト】

※宿泊研修参加者を選考する場合のため、宿泊研修¹⁾参加者は優先順位の高い順に記載ください。

※指導教員が宿泊研修に参加を希望する場合は、指定の欄に○を記載ください。

学校名：				
養蜂学習の名称：				
国内研修：参加生徒 合計		人	参加指導教員 合計	
			人	
生徒	No.	氏 名	学 年	
	宿泊研修参加者			
	1			
	2			
	その他の参加者			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
指導教員	No.	氏 名	宿泊研修参加希望の有無 ²⁾	
	1			
	2			

1) 第1回定期ミーティング（8月5日～8日）

2) 希望があれば、○

※ 行が不足する場合は、行を足して作成ください（複数ページに亘る場合は、ページ番号／総ページをフッターに入れてください）。

※ 班やグループに分かれていれば、班・グループ名を備考欄に入れてください。

※ 備考欄にはこのほか、班やグループで扱っている研究テーマ、養蜂学習内での役割（部長、班長など）があれば、差し支えない範囲で記載してください。

【様式 4: 宿泊研修参加希望者(高校生): 候補者情報及び自己推薦文】

学校名：	養蜂学習名称：		
氏名：	年齢：	性別：	学年：
養蜂学習での役割：			
自己推薦文			
<p>➤ ①養蜂産業について学びたいこと、③本研修事業への期待、④宿泊研修で学びたいこと、⑤学んだことを学内でどのように共有し、今後の学習に活かすかも記載に含めてください。</p> <p>➤ 学習／成果発表での具体的な希望やアイデアがあれば、記載ください。</p>			
<p>指導教員からの推薦（自由記載）</p> <p>※校内での選考があれば、その方法等も記載ください</p>			